



部活動の地域移行のあゆみ

少子化に伴う活動機会の減少と
子どもと向き合う時間の確保から
子どもたちの活動環境を持続可能な形で担保

柏市教育委員会

本日の内容



1 これまでの経緯

2 柏市の部活動地域移行について

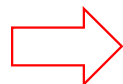
3 市の事業内容

4 活動の成果と課題

柏市の部活動に関する取組（部活動ガイドライン）

平成 29 年

行き過ぎた活動



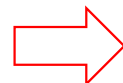
主体的な活動

柏市「部活動・特設クラブ活動のあり方に関するガイドライン」（9月1日施行）

平成 30 年 3 月 スポーツ庁が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定

平成 30 年

量

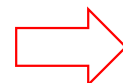


質

柏市「部活動・特設クラブ活動のあり方に関するガイドライン（第2版）」（5月1日施行）

令和 3 年

国より活動時間が長い

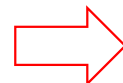


活動時間の適正化

柏市「部活動・特設クラブ活動のあり方に関するガイドライン（第3版）」（4月1日施行）

令和 6 年

部活動の活動日数



地域クラブの活動日数

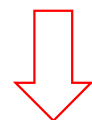
柏市「部活動・特設クラブ活動のあり方に関するガイドライン（第4版）」（9月1日施行）

土日は原則，活動を行わない

ガイドラインの改訂だけでは対応できない課題の解決へ

部活動の抱える課題

少子化に伴う活動機会の減少
子どもと向き合う時間の確保 等



学校単位の部活動の限界

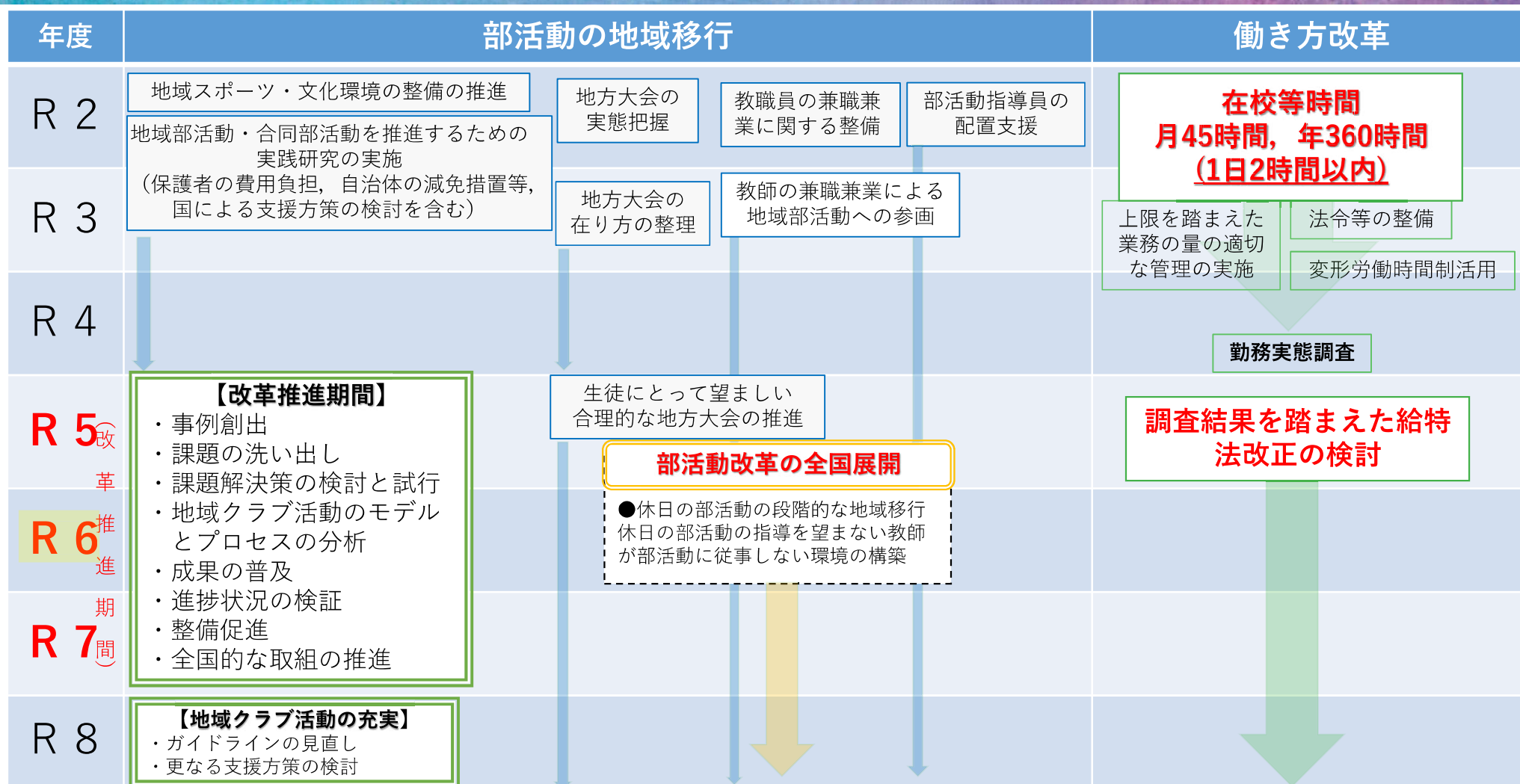


今後、求められること

【子どもたちの活動環境を持続可能な形で確保する】

自治体・地域クラブ・学校の連携が必要

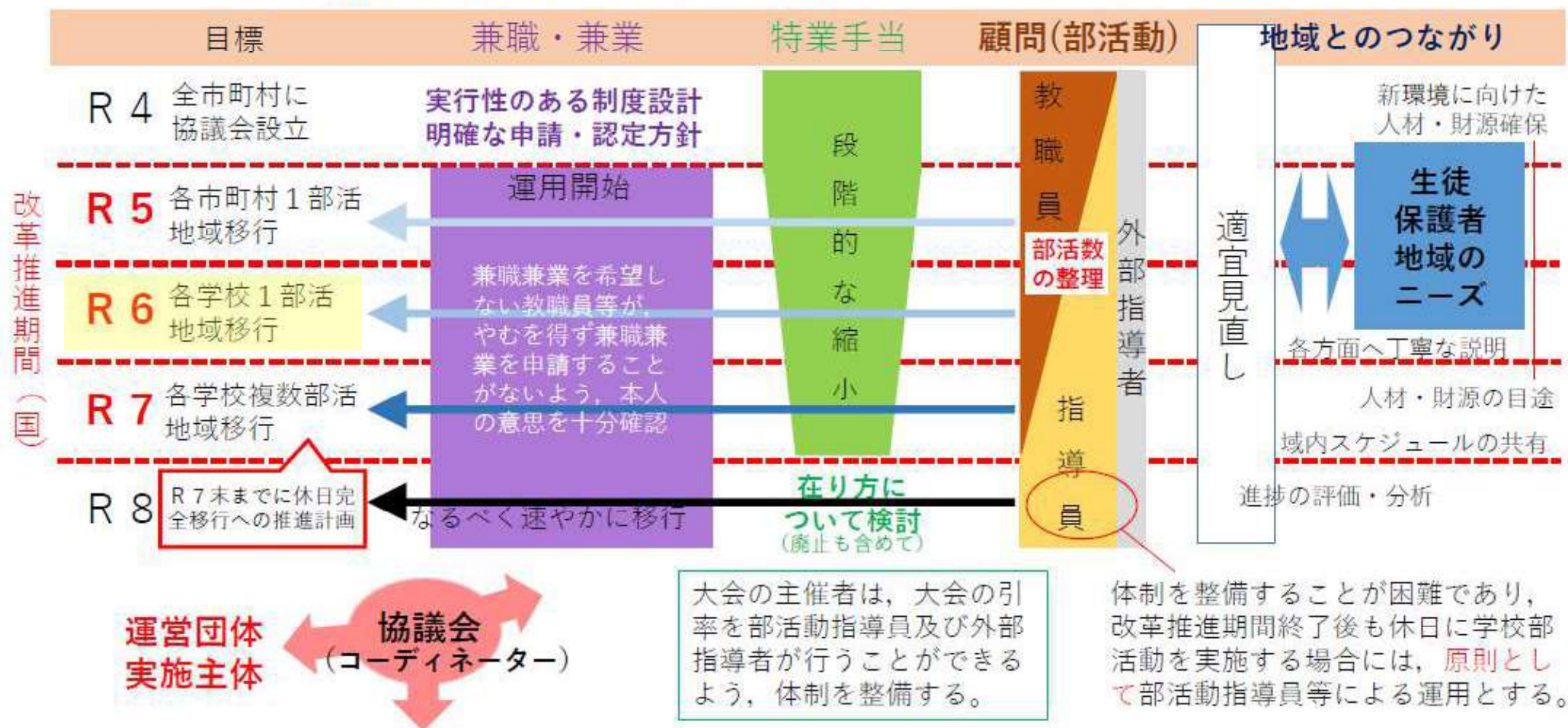
国の部活動改革ロードマップ



※ 小学校への言及なし

千葉県の一部活動改革ロードマップ

部活動の地域移行に関する課題の整理とスケジュール



各地域の実情に応じた危機管理体制（相談窓口・連絡連携ネットワーク・施設管理・業務管理）

柏市の部活動改革ロードマップ

年度	地域移行	中学校部活動	小学校特設クラブ	部活動ガイドライン
R 2	●地域移行の方向性をWGにて協議	●部活動のあり方をWGにて協議	◇バスケットボール教室廃止を周知 ※感染症の影響により大会なし	
R 3	地域運動部活動推進事業 [1校4部活動] ・地域人材を確保・仕組み ・地域部活動の運営団体の確保 ・費用負担のあり方整理 ・学校と地域の役割分担整理	【休日】 部活動	【平日】 部活動	【ガイドライン改定】 ・小中別々に策定 ・活動時間、活動日の削減
R 4	地域移行を周知		◇「柏市主催行事」廃止を周知 ・陸上競技大会（陸上41校出場） ・音楽発表会（吹奏楽42校出場）	
R 5	部活動の地域移行開始 ・R5.9月 全市的に休日においても活動していた13種目 ・R6.5, 6月 部活動にない2種目（ダンス、女子サッカー） ・R6.10, 11月 校舎内を使用する文化部（吹奏楽）、特性を生かした陸上競技	地域クラブ	「柏市主催行事」廃止 ・陸上競技大会（陸上37校出場） ・音楽発表会（吹奏楽34校出場）	●部活動ガイドラインをWGにて協議
R 6			（吹奏楽6校程度活動）	【ガイドライン改定】 ・土日は原則、活動を行わない ・今後の方向性示す
R 7	地域移行完了(休日) ※大会の要件によっては、部活動としての活動あり	●部活動数削減（休部・廃部） ●総合部活動等(注1)設置 【勤務時間内の部活動】	部活動改革推進期間 ・各校の活動の見直し ・廃止へ向けた周知の期間	●部活動ガイドラインをWGにて協議
	●小学生(高学年)の受け入れ態勢の整備 ●中体連、協会、連盟主催大会の参加要件、運営方法の整備		【今後の在り方】 吹奏楽：県や地域、独自の発表会 陸上競技：地域クラブ中心	
R 8	【地域クラブの魅力の創出と充実】 ●地域クラブ主催大会等 ●多世代や地域との交流 ●新種目の展開（フラッグフットボール、美術、英語、演劇、PC等）	●総合部活動(運動・文化)の充実	原則、活動を行わない ※大会や地域行事等参加のため活動を行う場合は1カ月程度	【ガイドライン改定】 ・完全下校17:00 ・小学校版廃止

（注1）種目に特化した練習ではなく、コーディネーション等を中心とし、種目の枠を超えた合同部活動を週1回程度設けるもの。顧問全員が指導に当たることがなくなる。



本日の内容

- 1 これまでの経緯
- 2 柏市の部活動地域移行について**
- 3 市の事業内容
- 4 活動の成果と課題



地域クラブのあり方

「楽しさ」「喜び」を感じる事を本質として活動

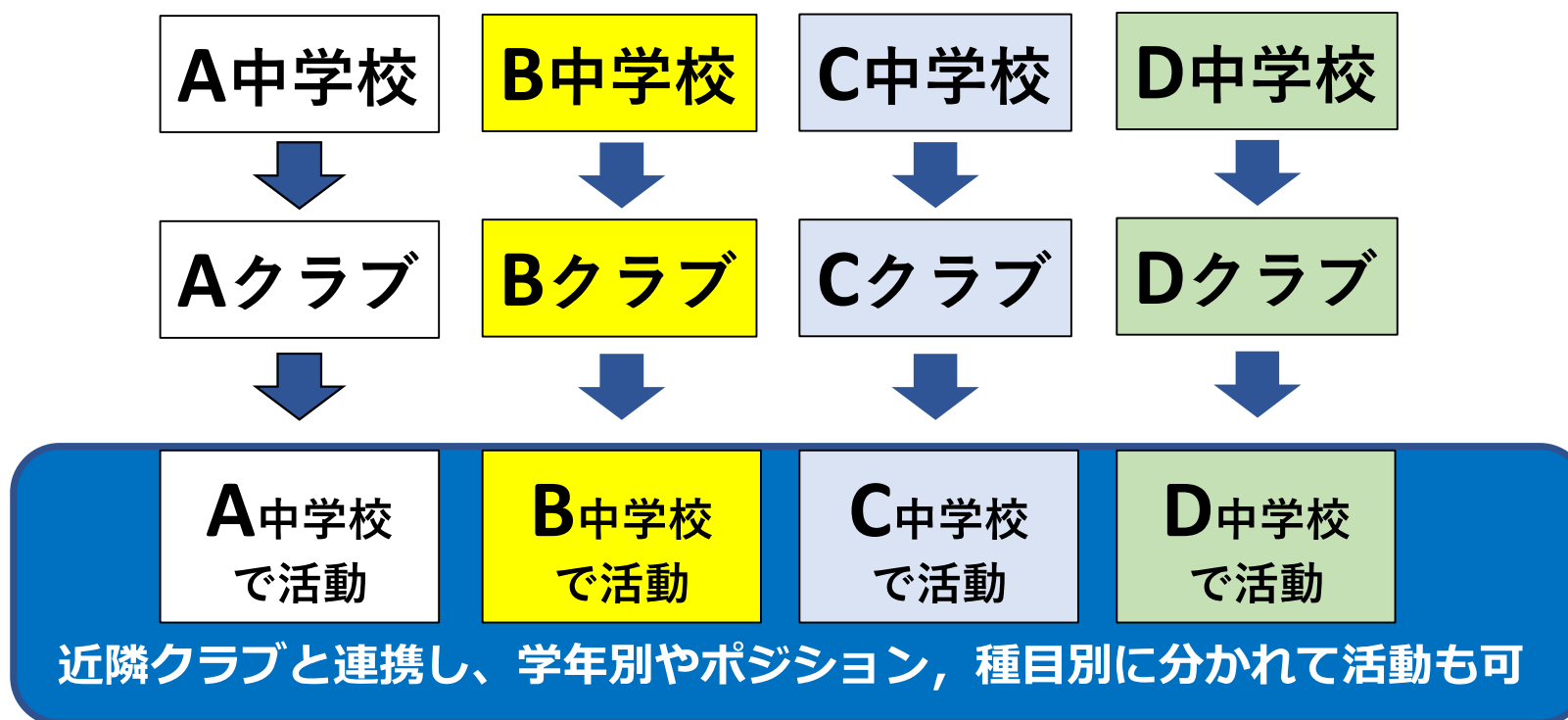
【活動範囲と目的】

- ・ 活動時間は土日どちらか **3 時間**程度
(部活動ガイドラインと同等)
- ・ 参加家庭の負担軽減のため、遠征等を頻発させないように運営団体が管理
- ・ 運営団体主催の大会等を充実させ、子どもたちの**出場機会を創出**

地域クラブの立ち上げ

～クラブの構成～

近隣クラブと連携し、現状の部活動の構成に近い形でクラブを立ち上げる



陸上競技クラブの地域移行（市内8拠点）

～クラブの構成（段階2）～

エリア分けにより、近隣校等と連携し、拠点校を基本に活動する
（例：短距離・長距離ごと）

A中 B中

北部① 拠点校A中
●●指導員（短）
▲▲指導員（長）

C中 D中

北部② 拠点校B中
●●指導員（短）
▲▲指導員（長）

E中 F中 G中

北部③・中部①拠点校C中
●●指導員（短）
▲▲指導員（長）

H中 I中 J中

中部② 拠点校D中
●●指導員（短）
▲▲指導員（長）

K中 L中 M中

南部① 拠点校E中
●●指導員（短）
▲▲指導員（長）

N中 O中 P中

南部② 拠点校F中
●●指導員（短）
▲▲指導員（長）

Q中 R中

南部③ 拠点校G中
●●指導員（短）
▲▲指導員（長）

S中 T中 U中

東部① 拠点校H中
●●指導員（短）
▲▲指導員（長）

- ・公園等は練習場所として使用可
- ・登録生徒数に応じて一般指導員を配置（KSCAが指導員と面談）
- ・専門種目については、シーズン等によって拠点校を設定

吹奏楽クラブの地域移行（案）（自校の生徒が自校の活動に参加）

主担当を1名は基本固定。副担当等，生徒数に応じて指導員を配置。
他校において，専門楽器の指導希望があった場合は必要に応じて指導へ行く



普段はA校で指導しているが，B校より要望があればそちらへ行くことも可

地域移行の現状

休日部活動 ⇒ 地域クラブ移行（クラブ数:加入生徒数）

市内中学校数 公立校 21校 運動部加入率63.1%（R6年5月時点 陸上部・水泳部除く）

合計3,639名（R6年5月時点） ←部活動加入者の内 約66.5%

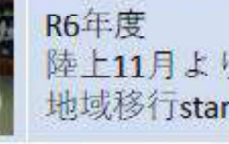
* 陸上部・吹奏楽部を除く

合計2,920名（R6年10月時点）

* 3年生・陸上部を除く

指導者数

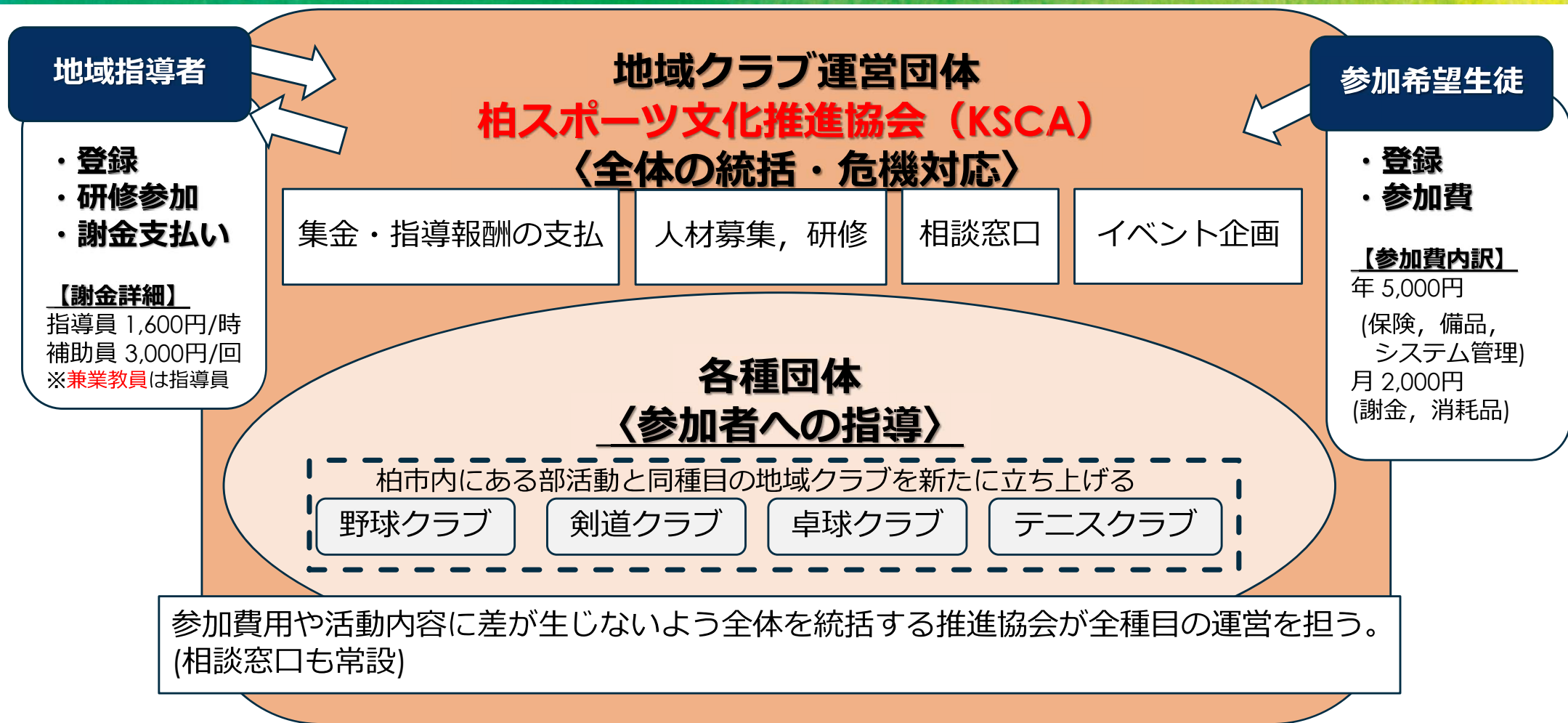
教員（6割）	一般（4割）	計
約178名	約136名	304名

バスケット ボール (C38/596)(注2)	ソフトテニス (C26/417)	軟式野球 硬式野球11月 (C13/239)	バドミントン (C11/168)	剣道 (C6/78)	ハンドボール (C1/23)	体操・ダンス (C1/3) (C1/6)
						
相撲 (C1/20)	卓球 (C18/352)	サッカー 女子サッカー (C17/280)	ソフトボール (C2/20)	バレーボール (C17/341)	柔道 (C2/10)	吹奏楽 (C21/367)
						

(注2)
(C38/596)
(クラブ数/人数)

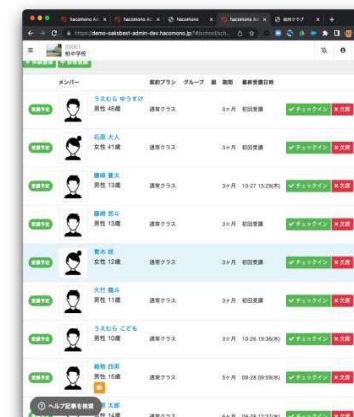
R6年度
陸上11月より
地域移行start

地域クラブ運営の仕組み



運営団体の主な役割

- ・指導員の配置について（募集，生徒数予備調査，配置等）
- ・指導員の事前研修
- ・地域クラブの運用に向けたシステム開発
（登録，費用徴収，保護者連絡，出退勤システム等）
- ・怪我等への対応



指導員研修の様子

◆日程

	テーマ/トピック	日程	講師	形式
研修①	「指導員としての『軸』を発見する」	6/17～7/28	中村貴之	オンデマンド
研修②	「指導員の『軸』のディスカッション/ ハラスメントについて」	7/1(土)16:00-17:30	矢野広明	オンライン研修
		7/29(土)10:00-11:30	南部さおり	
研修③	「安全管理と事故対応について」	8/5(土)午後	鈴木健介	対面研修

※研修②は、2日程のどちらかの参加をお願いします。

※安全管理と事故対応の対面研修を欠席された方は、別途研修会を受けていただきます。8/10に補講研修を企画していますので、KSCA 運営からのお知らせをお待ちください。

◆研修会内容

	内容
研修①	指導する目的/基本方針/価値観などを掘り下げる。選手や保護者との共通認識を持つための準備。
研修②	指導員としての「軸」についてディスカッションを行い、参加者同士の新たな気づきを促す。 昨今のハラスメントに対する情報や考え方とハラスメントを防ぐための準備を行う。
研修③	ケガや事故に対する即時対応を適切かつ効率的に行うための知識習得と実践。



KSCA |



本日の内容

- 1 これまでの経緯
- 2 柏市の部活動地域移行について
- 3 市の事業内容**
- 4 活動の成果と課題



地域移行に係る補助金

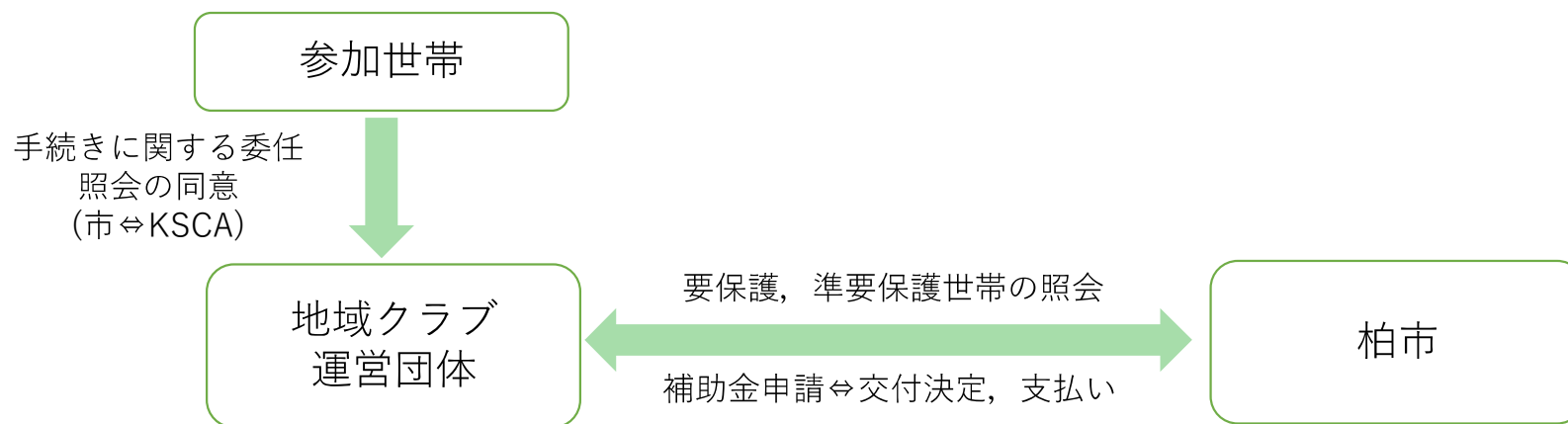
	部活動地域移行支援事業補助金 (対象：運営団体)		地域クラブ参加費支援補助金 (対象：保護者)	
R5	決算額 31,647,000円	プロポーザル最優秀提案者 【一般社団法人柏スポーツ文化推進協会：KSCA】 ・3年間の補助金申請が可能 ・活動初年度のイニシャルコスト	決算額 14,917,000円 * 内10,920,000円が コロナ交付金【国費】	・1, 2年生 ・登録全生徒2651名の年間登録料 ・困窮世帯122名分の月会費 (9月開始の為, 最大7カ月)
R6	予算 3300,000円	・運営費に関しては受益者負担を見込んでいるため, 2年目, 3年目は初年度の10分の1程度としている。	予算 17,400,000円	・困窮世帯に限る ・対象が1～3年生に, また, 陸上, 吹奏楽の開始に伴い, 登録生徒数の大幅増大
R7	予算 3300,000円		予算要求 14,100,000円	・運営団体と協議し, 3年生の年間登録料2500円へ変更 ・各学年200名で試算
R8以降	運営団体が自走する形へ。【持続可能な形】		予算要求 R7と同額程度の見込み	・国や県へも要望 ・小学生の受け入れが開始された際も支援の方向で調整

地域クラブ参加費支援補助金（R5～）

- ・対象は地域クラブに参加する生徒の保護者
- ・困窮世帯（生活保護，就学援助の認定のある）
- ・令和6年度より困窮世帯と児童養護施設等に属する生徒とする（一部改定）

●年間登録料5,000円 ●月会費2,000円

- ・申請は，登録時に手続きの委任や同意をすることで運営団体が手続きを代行（学校の手続きは一切不要）





本日の内容

- 1 これまでの経緯
- 2 柏市の部活動地域移行について
- 3 市の事業内容
- 4 活動の成果と課題**

専門的指導

【バドミントン・野球】

実業団での指導経験がある指導員

→専門的な指導を受けられる



地域連携

【ソフトテニス・ サッカー】

保護者や地域の競技経験者,
地域企業の従業員等が地域の学
校にボランティアとして参加

➡地域連携の活性化



様々な世代との交流

【卓球】

仕事を引退された方も子どもたちのために指導

➡様々な世代との交流

- ・準備が整い次第,
小学生の参加も可能になる
- ・大人との交流試合等も計画予定



活動環境の充実

【柔道】

拠点校にて合同練習
→ 階級に合わせた相手，
専門的指導

【野球】

学校に野球部がない生徒
が地域クラブに参加
→ 興味関心に応じて
選択が可能



多様なニーズに答えた活動の充実

【ダンス，走り方教室】

イベントとして実施

→ 学校部活動にない
体験が充実



R6：5月より
女子サッカー，ダンス開始

地域クラブアンケート調査(参加家庭：保護者・生徒)

本クラブの活動に満足していますか？



1回の活動時間 (練習時間・1回の練習時間は3時間以内)



練習回数の頻度はどう思っておりますか？



指導員との関係についてどう感じていますか？



地域クラブの活動に対する満足度は高い

活動が開始したことによる時間外在校等時間の削減効果

職種 \ 時期	令和 2 年 1 1 月	令和 4 年 1 1 月	令和5年11月	令和6年11月
平均時間 中学校教諭 (常勤)	59時間24分	48 時間 30分	46時間00分	40時間 5 0 分

- ・ **月 4 5 時間を下回る**
- ・ 職員の働き方改革に対する意識の向上
- ・ 公私の充実

【教職員へのヒアリング調査から】

- ・ 遠慮せずに休めるようになった。
- ・ 教頭の休日の負担が軽減されている。
- ・ 業務改善に関する職員の意識が高まっていると感じる。

部活動における上位大会の結果（令和４年度と６年度の比較）

千葉県総合体育大会結果

年度種目 項目	令和４年度	令和６年度
	最高順位	最高順位
野球	２回戦	２回戦
バレーボール（男子）	１回戦	１回戦
バレーボール（女子）	２回戦	２回戦
ソフトテニス（団男子）	２回戦	ベスト４
ソフトテニス（個男子）	ベスト１６	３回戦
ソフトテニス（団女子）	２回戦	１回戦
ソフトテニス（個女子）	ベスト１６	３回戦
バスケットボール（男子）	１回戦	１回戦
バスケットボール（女子）	１回戦	２回戦
卓球（団男子）	ベスト１６	ベスト８
卓球（個男子）	優勝	ベスト１６
卓球（団女子）	ベスト１６（３回戦）	３回戦
卓球（個女子）	４位	ベスト１６
ソフトボール	１回戦	１回戦
サッカー	２回戦	１回戦
バドミントン（団男子）		１回戦
バドミントン（個男子）	２回戦	２回戦
バドミントン（団女子）	ベスト８	２回戦
バドミントン（個女子）	ベスト８	ベスト８

関東大会出場

令和４年度	令和６年度
剣道（団体・個人１名）	剣道（個人１名）
体操（１名）	
相撲（団体・個人３名）	相撲（団体・個人４名）
	ソフトテニス（団体）
陸上（５名）	陸上（５名）
水泳（４名）	水泳（１１名）
硬式テニス（５名）	

全国大会出場

相撲（団体・個人２名）	相撲（団体・個人３名）
陸上（３名）	陸上（２名）
水泳（２名）	水泳（３名）

東葛駅伝

入賞校数（１０位以内）／最高順位	
２校／第１位	２校／第８位

- ◆陸上：令和６年１１月より、地域移行化
- ◆駅伝：、大会要件により、部活動を継続
- ◆水泳：硬式テニスは、地域移行対象外部活動

現状では、地域移行後の大会成績について、極端な変化は見受けられない

先進的な取り組みは全国から注目

<カンファレンス及び説明会・勉強会> (R3年～R6年)

- ・スポーツ庁 全国担当者会議
- ・FIA 地域移行セミナー
- ・JFAカンファレンス
- ・イマチャレコンベンション
- ・日本野球機構



Fitness
Industry
Association
of Japan



スポーツ庁



イマチャレ



・自民党本部 勉強会



<自治体、団体への説明会、相談実績>

◇事例数 都道府県：5県 自治体：32市町村



昨年度の視察件数

スポーツ団体：4団体 企業：3社

令和6年度12月時点

【自治体】

静岡市，川越市，浦安市
印西市，松戸市，流山市
八王子市，習志野市
調布市，宇都宮市
四日市市，浜松市
山梨県，愛知県

全国各地からの視察

【企業等】

NPOセンター
NECグリーンロケッツ
meiji
県ラグビー協会
LEGSLIS

今後の課題＜地域移行をより推進するために＞

1 システムの調整（R6実証事業費：約500万）

出欠確認，指導者・保護者連絡，会費徴収，勤怠管理等，複数のアプリを使用することによる負担感の軽減を目指す

2 使用する施設の調整の難しさ

学校を活動場所としているため，学校部活動や学校行事が活動優先となるため，活動日の決定について一般の指導員と綿密な調整が必要

3 大会出場要件の整理

大会の参加要件が学校単位，地域クラブ単位に限定されるなど，全ての団体の参加が認められない大会が点在

4 地域移行したことによる新たな魅力の創造

KSCA主催大会，多世代・地域との交流の充実や部活動に無い新種目の展開